

平成30年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	徳永
	全体計画			経費区分	経常的経費	内線	3642
事務事業名	4290 特別保育事業						
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課						
施 策	02020900 子育て環境の充実						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	030203 民生費・児童福祉費・保育所費					
	事業	040000 特別保育事業					
事業目的				事業概要・効果			
保育時間の延長、乳児保育、一時的保育、病後児保育、障がいのある子どもへの対応など、多様化する保育ニーズに対応するとともに、地域活動を通じて保育園児の豊かな心や保護者の子育て支援を図る。				保育時間の延長、乳児保育、一時的保育、病後児保育、障がいのある子どもへの対応により地域活動を通じて保育園児の豊かな心や保護者の子育て支援を図れた。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
延長保育延児童数 4,157人 特別支援保育 34人 一時保育 276人 乳児保育 449人 病後児保育 88人	延長保育延児童数 4,300人 特別支援保育 32人 一時保育 180人 乳児保育 420人 病後児保育 77人
平成29年度 実績	平成30年度 予定
延長保育延児童数 2,862人、緊急6,758人 特別支援保育 39人 一時保育 375人 乳児保育 531人 病後児保育 108人	延長保育延児童数 5,067人 特別支援保育 33人 一時保育 132人 乳児保育 420人 病後児保育 60人を予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定
延長保育延児童数 5,067人 特別支援保育 33人 一時保育 132人 乳児保育 420人 病後児保育 60人を予定	延長保育延児童数 5,067人 特別支援保育 33人 一時保育 132人 乳児保育 420人 病後児保育 60人を予定

指標名	無し				
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		78,171	79,855
特定財源	国庫支出金	1,408	2,233
	都道府県支出金	1,408	2,233
	地方債	0	0
	その他	41,936	3,994
一般財源		33,419	71,395
人員数(人)	正規職員	3.4	3.4
	嘱託職員	5.2	5.2
	臨時職員	66.0	74.0
人員コスト	正規職員	24,306.6	24,306.6
	嘱託職員	14,383.2	14,383.2
	臨時職員	77,814.0	87,246.0
	計	116,503.8	125,935.8
市民一人当たりの経費		3.7	3.9
総額		194,674.8	205,790.8

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,460	消耗品費等
13節 委託費	3,111	英語指導2,916、体育指導195
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	4,226	病後児保育負担金
その他	69,374	臨時職員人件費等

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	4,083	英語指導3,888、体育指導195
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	6,700	病後児保育負担金
その他	69,072	臨時職員人件費等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	保育の実施は市町村事務で不可欠	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	特別な支援が必要な保育は公立保育園での実施が有効	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	保育の実施は成果を落とさずにコストを削減するのは非常に困難	

振り返り（決算年度の取組み課題）
計画通りに特別保育の提供が実施できた

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
乳児保育、延長保育、特別支援保育、病後児保育など、保護者の多様化する保育ニーズに対応することができた		保育ニーズの多様化に適切に対応する必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	